

# 第17回

## 沖縄県子ども 地域安全マップコンテスト 作品集



ちゅらうちな—安全なまちづくり推進会議

沖縄県・沖縄県警察・沖縄県教育庁



3番はすべての人に健康と福祉を  
あらゆる年齢のすべての人々の健康的  
な生活を確保し、福祉を促進する。



## はじめに

「子ども110番の家が、学校のまわりにもっと増えたら安心してきていいな」とか「ここの道路は草が伸びて見通しが悪いから近づかないようにしよう」など、子どもたち自身が地域の安全な場所、危険な場所について調べ、作製していくのが「子ども地域安全マップ」です。

危険な場所とはどういう所でなぜ危険なのか、危険な場所ではどうしたらいいのか、子どもたちに気づきを促すとともに、地域の方へインタビューすることで地域との結びつきや地域への愛着心の醸成、子どもたちを守ろうとする地域の取り組みの強化など、子どもと地域の防犯力を高める効果が地域安全マップを作る中で期待されています。

沖縄県では「ちゅらさん運動」の一環として、「沖縄県子ども地域安全マップコンテスト」を開催し、今回で17回目となります。毎年たくさんの小学校、児童館、子ども会などから応募があり、どの作品も地域のことをよく調べ、イラストや写真などで分かりやすく表現された素晴らしい作品となっています。

35点の応募作品の中から、最優秀賞3点、優秀賞9点、入選8点を選出し、表彰を行うとともに、「第17回沖縄県子ども地域安全マップコンテスト作品集」として刊行し、地域安全マップの更なる普及を図ることとしております。

本作品集をきっかけに、地域安全マップづくりに取り組む子どもたちが増えるとともに、子どもたちの目線で捉えた地域の課題解決に向けて、参考としていただければ幸いです。

沖縄県子ども生活福祉部  
消費・暮らし安全課





## 第17回沖縄県子ども地域安全マップコンテストの概要

### 1 目的

子どもたちの地域安全マップづくりへの参加意欲を高め、子ども自身の犯罪被害回避能力、コミュニケーション能力及び地域への愛着心の向上を高めるとともに、地域安全マップの普及促進を図ることを目的とします。

### 2 応募状況

県内小学校、児童館等 18 団体から 35 点の応募がありました。

### 3 地域安全マップ作製指導者講習会の開催

令和5年7月13日（木）、14日（金）の2日間、Web形式で開催しました。

### 4 審査会

令和5年9月26日（火）沖縄県庁にて全作品を対象に審査を行いました。



### 5 表彰式

令和5年10月15日（日）午後2時から、イオンモール沖縄ライカムにて、沖縄県警察主催「防犯フェア2023」内で表彰式を行いました。



# 受賞団体一覧

表彰区分	部門	団体名	グループ名	部門
最優秀賞 【県知事賞】	低学年の部	ひばり放課後児童クラブ	ひばりっこ宮古島まもる隊	宮古島市
	中学年の部	にこにこ学童（大西クラブ）	えがおを守るたんけん隊	名護市
	高学年の部	子供の世界学童クラブ	にゃんこ探検隊	うるま市
沖縄県 警察本部長賞	低学年の部	宜野湾市立我如古児童センター	がねじたんけんたい	宜野湾市
	中学年の部	豊崎児童クラブ	カービーグループ	豊見城市
	高学年の部	豊崎学童クラブ	TOYOSAKI 防衛隊	豊見城市
沖縄県 教育長賞	低学年の部	にしざき学童クラブ	あんぜんだいいちいとまんグループ	糸満市
	中学年の部	子供の世界学童クラブ	マリオ探検隊	うるま市
	高学年の部	北山学童	街の笑顔を守り隊	今帰仁村
沖縄地区 安全なまちづくり 推進協議会長賞	低学年の部	こくらッコガールズ	こくらッコガールズ	那覇市
	中学年の部	第二前田学童クラブ	第二前田学童クラブグループ	浦添市
	高学年の部	いしかわ児童館	石川スマイルチーム	うるま市
入 選		子供の世界学童クラブ	ジョジョ探検隊	うるま市
		(一社) まちづくりうらそえ 浦添市立 宮城っ子児童センター	宮城っ子調査隊	浦添市
		(一社) まちづくりうらそえ 浦添市立 宮城っ子児童センター	みやぎっこあんぜんマップたい	浦添市
		壺屋児童館	花まるつぼやっこ	那覇市
		(一社) まちづくりうらそえ 浦添市立 宮城っ子児童センター	宮城っ子たんけん隊	浦添市
		子供の世界学童クラブ	なかよし探検隊	うるま市
		ひだまり学童CLUB	ひだまりたんけんたい	中城村
		牧港学童クラブ	牧港を守る安全マップ	浦添市



## 最優秀賞(低学年の部)

ひばり放課後児童クラブ

ひばりっこ宮古島まもる隊



### 受賞の感想

今回このような「県知事賞」という素晴らしい賞をいただき、子どもたちと一緒に大喜びいたしました。子どもたちの目線から見ても、分かりやすい、興味をわくようなPOP なしかけなど、MAP を作りながら、子どもたちからアイデアがたくさんでたことが良かったと、思います。

毎日歩く通学路での発見を通してこれからも交通安全の意識を高めていけたらと思います。

### 審査のコメント

- 調査のコメントや情報を記入した写真を貼り付け、視覚的にわかりやすい。
- 警察官等のイラスト、全体の色づかいかもよく上手くまとまっており、クイズをとり入れたアイデアもよい。





## 最優秀賞(中学年の部)

にこにこ学童(大西クラブ)

えがおを守るたんけん隊



### 受賞の感想

初めて私たちが地域の安全マップを作ろうと決めた理由は、新聞やTVで車と自転車の事故により大切ないのちを失うことが多いことでした。学童の周辺は坂道が多く、せまい道路も多いので子どもたちが自転車で遊んでいる姿を見るたびに、不安になる事でした。

大西公民館の区長さんや名護警察署の生活安全課や交通係の方々の協力をいただき、また保護者の皆さんのアンケートの協力をいただいて、1ヵ月をかけて(えがおを守るためのマップ)作品が出来上がりました。大きな賞をいただき、とてもうれしくなった事と、また驚きました。

受賞させていただき、ありがとうございました。

### 審査のコメント

- アンケートや、警察署等へ聞き取りした結果をうまくまとめている。
- 文字のサイズや、色を考え、情報をわかりやすく伝える工夫をしている。



## 最優秀賞(高学年の部)

### 子供の世界学童クラブ

### にゃんこ探検隊



#### 受賞の感想

夏休みの短期間、地域を探検し、安全・危険箇所、防犯・防災に備え、危険予知で各自が身を守る手法の意識を高め、マップ作りに取り組みました。地域をよく知る自治会長さんにインタビューし聞いたことや実際に見て感じた事を記入していく中で私達の地域は守ってくれる方々が多くいる事に気づき、また自分達に出来ることの一つに人命救助を取り入れ消防署さんのご協力のもと救命講習を受講し、AEDの使用法や救助にあたる一連の流れを学び身につける事が出来ました。

皆様のご指導・ご協力のもと素晴らしい評価を頂き、子ども達と喜び感謝し、今後も更に向上していけるよう頑張っていきたいと思います。

#### 審査のコメント

- こどもの目線で危険な場所を捜し、空き家、路上駐車、落書きのある場所の危険性、なぜ危険かわかりやすく表示している。
- 安全なまちづくりの為に、自分たちが出来る事を考え、大人への要望も伝えている。





## 沖縄県警察本部長賞(低学年の部)

### 宜野湾市立我如古児童センター がねじたんけんたい



#### 受賞の感想

今回、初めて安全マップ作成をしました。初めは低学年のチームで不安もありましたが、1人1人に役割をもたせインタビューに出発すると、自分の役割をしっかりとこなし頑張る姿が見られました。マップを作成していく中で子ども達と相談したりアイデアを出し合ったりして、試行錯誤し、1人1人の色がでたマップを完成することができました。

受賞できた事で、子ども達もとても喜んでいたのでそれぞれの自信につながると思います。また、今後これを機に地域の防犯に興味をもち、自分のことも友達のこともしっかり守れる子が増えることを願っています。

#### 審査のコメント

- 立体的なしかけによるメッセージを取り入れ、工夫している点がよい。
- カラフルな色、イラストを描く、貼り付けるなどし、うまくまとめている。





## 沖縄県警察本部長賞(中学年の部)

### 豊崎児童クラブ

### カービーグループ



#### 受賞の感想

今年は2年・3年生の4名が地域安全マップ作りに参加しました。受賞をきいた時、おどろきと嬉しさでお互いの顔をみつめ合い、キラキラした笑顔でとても喜んでいました。

令和5年に開通した橋のまわりを中心に自分たちの住んでいる町を知る。危険な箇所、安全な所、子ども110ばんの家や避難ビルの確認、又道路標識についても調べマップを通して知識を深めることができました。自治会長さんや警察官のインタビュー、アンケートなどご協力頂いた皆さまには心より感謝しています。自分たちの作ったマップが受賞したことは、大きな自信につながりました。今後も楽しくマップ作りができるよう、チャレンジしたいと思います。

ありがとうございました。

#### 審査のコメント

- マップへ説明入りの写真を貼り付け、情報をわかりやすく伝えている。
- 自治会や警察署へインタビューを行い、調査結果をまとめている点がよい。



## 沖縄県警察本部長賞(高学年の部)

### 豊崎学童クラブ

### TOYOSAKI 防衛隊



#### 受賞の感想

このような大賞をいただいて、メンバー全員で大喜びしました。今回の夏休みは、台風がきてスケジュールが変更となり、時間がないとあせりましたが、津波や地震だけでなく台風から身を守る方法を調べ学ぶことにしました。

メンバーの自宅で停電などもあり実際に災害を体験したので身近な問題として考え、調べることができました。自分達の体験したことだけでなく、地域の方や役所でインタビューして学びを深めました。地域を歩き、避難ビル、避難所まで実際に自分達だけで歩くだけでなく、その時のことを想定しながら避難し考察しました。

自分の学びだけでなく学童で発表したり、家庭でも災害についてあらためて考えるきっかけにもなりました。学びの機会をありがとうございました。

#### 審査のコメント

- 「自分の命は自分で守る」視点で、実際に避難ルートを歩き、調べたことをまとめている。
- 市役所へインタビューを行い、備蓄倉庫の見学、災害用伝言ダイヤルの紹介をしている点もよい。





## 沖縄県教育長賞(低学年の部)

### にしざき学童クラブ

### あんぜんだいいちいとまんグループ



#### 受賞の感想

今回、初めての糸満南小学校の2年生のメンバーで安全マップコンテストへ応募させていただきました。安全で、安心して快適に過ごせるように、皆で協力しあいながら、安全マップを作成しました。お互い、助け合い工夫し、とても楽しく作成する事が出来ました。ありがとうございました。

#### 審査のコメント

- 地域の魅力、紹介も兼ねたマップで、備蓄情報や、危険な場所、避難場所を記載している。
- コメントの文字の大きさや写真の形を変えたり、イラストも可愛く、細かい点にこだわって作成している。



## 沖縄県教育長賞(中学年の部)

### 子供の世界学童クラブ

### マリオ探検隊



#### 受賞の感想

県教育長賞という大きな賞をいただき、とても嬉しく思います。

毎年夏休みに行なっている地域安全マップ作り「大切な命と安全」を一人ひとりが気づいて学ぶ取り組みと  
しています。今年も真夏の町探検はとても暑くてたいへんでした。

子ども達の気づきでは「らくがきの場所」、「外灯が少ない場所」はキケンだ、「今の車はエンジンが静かだから  
気をつけよう」などの声があがりました。「公衆電話の設置場所、電話の使い方」「AEDの設置場所」など加え  
て考えていきました。災害避難場所、こども110番等の再確認しながら探検しました。  
受賞を胸に「こどものせかいのぼうはんのちかい」を大きく広めていきたいです。

#### 審査のコメント

- 街歩きで危険なところを調べ、落書きの場所は危険だという気づきや、危険度を色分けで表示している点が  
わかりやすい。
- カラフルな色、写真をバランスよく配置し、よく考えて作成している。





## 沖縄県教育長賞(高学年の部)

北山学童

街の笑顔を守り隊



### 受賞の感想

4年生2名、5年生4名、6年生1名でマップ作りに取り組みました。子どもたちが実際に地域を歩いて危険なところを発見すると同時に、魅力も発見することができました。

仲間とともにマップを作る過程は、安全への意識を高めるとともに、仲間とのコミュニケーションが不可欠です。仲間との協力や共感・自己主張は、社会的スキルを向上させ、そしてマップが完成した際に得られる達成感と自信は、子どもたちにとって貴重な経験となりました。

最後に、教育長賞という素晴らしい賞をいただき、子どもたちの頑張りが評価されたことを大変嬉しく思います。

### 審査のコメント

- 危険なところを黒、地図や円グラフで色の統一性、視覚への印象を考えており、色の使い方が上手である。
- 住民へのインタビューで防災への備えを調べ、わかりやすく伝えている。



## 沖縄地区安全なまちづくり 推進協議会長賞(低学年の部)

こくラッコガールズ

こくラッコガールズ



### 受賞の感想

毎年取り組みを重ねている常連の児童クラブが多い中、仲良し3人グループによる初挑戦で大きな賞をいただくことができ、子どもたちおよびその保護者一同、大変喜んでいました。

2年生になり「休みの日にお友達同士で遊びたい」という声が聞こえ始めたものの、保護者としては安全面への不安があり、なかなか「行っておいで」と言いづらいなと思っていました。そこでまずは、身近な地域の様子を知ること、何が安全で何が危険か意識を持つこと、ひいては保護者同士がつながりを持ち、連携して見守れる体制をつくるきっかけになればと考え、仲良しの同級生に声をかけてグループをつくり、安全マップづくりに取り組んでみました。

今回はお互いの通学路を中心に調査しましたが、子どもの視点から得られたものは、おとなにとっても学びの多いものでした。よい機会をいただき、ありがとうございました。

### 審査のコメント

- 実際に街歩きをし調査した結果をうまくまとめている。
- 角度を工夫し写真を撮影しており、記載されているコメントもよい。





# 沖縄地区安全なまちづくり 推進協議会長賞(中学年の部)

## 第二前田学童クラブ

## 第二前田学童クラブグループ



### 受賞の感想

今回初めて学童で、安全マップを作成することになり、4・5年メンバーで行い、どんな風に作るのかや、ちゃんと完成できるのか不安がたくさんありました。夏休み中に作成を行い、みんなが遊んでいる時に作っていて「いいなー、あそんで…」と思ったりもしたが、目標は賞を取ることだったので「なんで危ないと思ったのか」や、「どうしたら安全になるのか」を大人の人から聞いてみたり、写真を何度も見て話し合いをしてとっても良かったなと思いました。

### 審査のコメント

- 調査した危険な場所をマップへ示し、どこが危険なのか、どうしたら安全になるのか考えた結果を伝えている。
- カーブミラーの役割や危険性を伝えている独自の視点がよい。



# 沖縄地区安全なまちづくり 推進協議会長賞(高学年の部)

## いしかわ児童館 石川スマイルチーム



### 受賞の感想

色ぬりや、道、アパート、店などで色をわけて分かりやすくぬる事を工夫したので受賞できてうれしかったです。  
細かい部分もこだわって作成したので、とても嬉しかったです。

### 審査のコメント

- 実際に避難し、かかった時間、わかった事に加え、予測、他に避難できそうな場所を記載している点がよい。
- 文字やイラストの色づかい、写真の配置、レイアウトのバランスがよく上手。





## 入 選

子供の世界学童クラブ / ジョジョ探検隊



### 受賞の感想

入選できたこと大変嬉しく思っています。夏休みの暑い中、子供達と一緒に地域を散策して改めて危険な場所や改善された場所を再確認する事ができ、又地域の方々とより親睦を深めることができました。今回の受賞を子ども達と共に喜び合える事に感謝し、次年度も地域安全マップに取り組んでいきたいと思います。

(一社)まちづくりうらそえ

浦添市立宮城っ子児童センター / 宮城っ子調査隊



### 受賞の感想

もっと上の賞をねらっていたので、少し残念な気持ちはあるけど、入選できたことは、うれしい。また、来年のマップコンテストに参加して、チャレンジしたい。

(一社)まちづくりうらそえ

浦添市立宮城っ子児童センター / みやぎっこあんぜんマップたい



### 受賞の感想

・紙貼りや絵を描くことが楽しかった。  
・探検が楽しかった。安全に気をつけて遊びたい。  
・安全マップでセンターの開いている時間や花屋さんの色々なことが知れて良かった。  
また来年も安全マップ作りに参加したい。

壺屋児童館 / 花まるつぼやっこ



### 受賞の感想

メンバー全員が初めての安全マップ作りで、真夏の暑い中、よく頑張りました。時に意見が合わず、喧嘩になったりしましたが、互いに納得いくまで案を出し合い、最後まで取り組むことができました。自分たちの地域の特色、安全・危険な場所、地域の方々に見守られているということを再確認できたかと思います。  
受賞ありがとうございました。



# 入 選

(一社)まちづくりうらそえ

浦添市立宮城っ子児童センター / 宮城っ子たんけん隊



## 受賞の感想

- ・今までの通学路で大丈夫だろうと思っていたけど、安全マップをやって、危険な所っていっぱいあるんだなぁと思った。
- ・細かい所をがんばったので、入選出来てうれしい。
- ・色ぬりや文字をがんばったので、やってよかったし入選出来て良かった。

ひだまり学童 CLUB / ひだまりたんけんたい



## 受賞の感想

地域を探検してみて、普段何気なく通学路として使っている道にたくさんの危険ポイントや歩行者や子ども達を守る為の安全ポイントがあることに気がきました。マップを作る時は、どうすれば見やすいかを意識してグループで話し合い作りしました。それぞれに役割分担をし、イラストが得意な子はイラストを描き、見た目にもかわいく分かりやすいマップが出来ました。マップ作りを通し、地域の特性を改めて考え、“安全とは”“危険とは”について学ぶことができ、良かったです。

子供の世界学童クラブ / なかよし探検隊



## 受賞の感想

なつやすみに友達との交流を深めていながら、マップ作りに取り組みました。インタビューして、地域の人に守られてる事を知り、自分で自分の命を守るため「安全な道を通る」「1人で歩かない」「最近の車はエンジンの音が静かだから気をつけよう」とたくさんの気づきがありました。仲よく助け合い、友達とマップ作りをして、また絆が深まったなかよし探検隊です。これからも防犯の意識を高めていきたいと思います。

牧港学童クラブ / 牧港を守る安全マップ



## 受賞の感想

安全マップを作成して、危険の場所が知れて良かった。皆に牧港を知ってもらいたいのと作品 (マップ) を見てほしい。来年は、もっと細かく写真や文字もふやして今回よりレベルアップしたマップを作成したい!!!



## 審査委員長講評

入賞された皆さん、おめでとうございます。

皆さんの作品の審査を行いました審査委員長の長山と申します。

今回で 17回目を迎える「沖縄県子ども地域安全マップコンテスト」には、県内各地域から多数の応募がありました。

今回の応募作品は、熱心に地域安全マップづくりに取り組んだ作品が多くあり、普段、生活している地域を歩いて回り、安全な場所や危険な場所を一生懸命見つけようとしたことが伝わってきました。

優秀作品に選ばれた皆様の作品においては、写真やイラストなどを活用し、色使いやレイアウトにおいても工夫され、見た目にも楽しく素晴らしく甲乙つけがたい作品ばかりで、審査に大変苦労しました。

応募作品の審査は、審査員5人により、次の5つのポイントを重視して審査を行い、優秀作品 20点を決定しました。

1つ目は、「子ども110番の家など、危ない時に助けてくれる所などを描いているか。」

2つ目は、「色、写真、イラストなどを活用して、見やすく分かりやすいマップとなっているか。」

3つ目は、「危険な場所と安全な場所がマップに表示されているか。」

4つ目は、「地域の特色を調べ、インタビューを行うなど、地域の人たちと交流して作っているか。」

5つ目は、「プライバシーや過去の事件などに配慮しているか。」

このような視点から審査を行い、優秀作品を決定しました。

寄せられた作品には、まち探検をしながら「安全な場所」と「危険な場所」を探だけでなく、警察署や、市役所、自治会などの大人たちへインタビューを行ったり、住民にアンケートを実施したり、地域の大人と交流している作品や、災害伝言ダイヤルや避難所を記載している等、実際に役立つ情報がある作品もありました。

皆さんには、これからも、この地域安全マップづくりを通して気づいたことを、友達や地域の大人たちに伝えて、安全・安心なまちづくりのための手助けをして欲しいと思います。

また、この「地域安全マップづくり」が県内で更に拡がり、地域の大人たちにも協力してもらい、子供たちが安全に、安心して遊び、学ぶことのできる地域づくりに役立つことを期待しております。

結びに、地域安全マップコンテストに御協力いただいた関係者の皆様に、心から感謝を申し上げ講評といたします。

令和 5年 10月

第 17 回沖縄県子ども地域安全マップコンテスト審査委員長  
ちゅうちなー安全なまちづくり推進会議  
ちゅうらまちづくり専門部会長 長山 格

## 地域安全マップづくりに取り組んでみよう

### 「地域安全マップづくり」とは

「地域安全マップ」とは、**子どもたちが普段、生活している地域の「危険な場所」、「安全な場所」**を表示した地図です。

「地域安全マップづくり」は、1グループ 5～7名程度がそれぞれ役割分担して、フィールドワーク、インタビューを行い、犯罪が起きやすい場所等を見つけ出し、それを元に「地域安全マップ」を作製する取組です。

**子どもたち自身が地域安全マップを作製**することで、子どもたちの**犯罪被害回避能力の向上**が期待できます。



### 「危険な場所」、「安全な場所」とはどのような場所なのか

#### 入りやすい場所とは

「危険な場所」とは、「**(犯罪を考えている者が)入りやすく、見えにくい場所**」

「安全な場所」とは、「**(犯罪を考えている者が)入りにくく、見えやすい場所**」

- 犯罪を考えている者(犯人)と被害対象者(被害者)の間に障害物がなく、簡単に近づくことができる場所
- 犯行後、障害物がないため、すぐに逃げることができる場所
- ゴミが散乱していたり、落書き等が放置されている場所



#### 見えにくい場所とは

- 死角が多いため、犯罪を行っても、誰にも見られないような場所
- 周りで起こっていることに無関心な人が多い場所(第三者がいても全く無関心なため、自由に行動ができる場所など)



#### 具体的例示

- 出入口がなく、どこからでも入ることができる公園は、**入りやすい公園**です。周囲が柵等で囲われ、出入り口が限られている公園は、**入りにくい公園**です。
- 同じ公園内でも子どもが利用する空間と大人が利用できる空間が区分されていない公園は、**入りやすい公園**です。利用者が明確に区分されている公園は、**入りにくい公園**です。
- ガードレールで歩道と車道が区分されていない道路は、**入りやすい道路**です。逆に、きちんと区分されている道路は、**入りにくい道路**です。
- 歩行者が少なく、車の通行が多い道路、路上駐車が多い道路は、**入りやすい道路**です。逆に、歩行者が多い道路、路上駐車がない道路は、**入りにくい道路**です。
- 生け垣が高い、又は樹木が生い茂っていて、周囲からの見通しが悪い公園は、**見えにくい公園**です。



- 生け垣が低く、樹木等が剪定されていて、周囲からの見通しが良い公園は、**見えやすい公園**です。
- 道路の両側に高い塀などがある道路は、**見えにくい道路**です。  
周囲の住宅、店舗からの視線が確保されている道路は、**見えやすい道路**です。
- ゴミが散乱し、落書きが消されずに残っている地域は、犯罪者にとって、**心理的に入りやすい場所**です。また、そのような場所には、地域住民がなかなか近づかないため、**見えにくい場所**にもなっています。
- 見知らぬ者がいても、声をかけなかったり、無関心な地域は、犯罪者にとって、**心理的に入りやすい場所**です。誰にでも挨拶し、その地域に住む人ではない者を見かけたときに声を掛ける地域は、犯罪者にとって、**心理的に入りにくい場所**です。
- 外灯がなく、周囲の住宅の門灯も点いていないような暗い地域は、地域住民が、暗さに無関心であるため、**見えにくく、入りやすい場所**です。逆に、外灯があり、住宅の門灯が点いていて明るい地域は、地域住民が夜間の安全に関心があり、**入りにくく、見えやすい場所**となります。

## なぜ、「入りやすく、見えにくい場所」は危険なのか。

犯罪を行おうとする者は、人に見られることを、最も警戒します。

子どもに対する犯罪を例に挙げると、犯人は、簡単に子どもに近づくことができ、誰にも見られず犯行に及び、その後、すぐに逃げることができる場所を選ぶ傾向にあります。

それが、「**入りやすく、見えにくい場所**」です。

実際に、過去の事件でも、犯人は、被害者が一人になったところや誰もいない場所に移動したときを狙って、犯行に及んでいます。

## 地域安全マップづくりの効果

### ● 子どもの犯罪被害回避能力の向上

「危険な場所」、「安全な場所」の判断ができることで、安全な道を選んだり、安全な場所で遊んだりするようになります。また、どうしても、「危険な場所」を通らなければならないような場合には、そこが「危険な場所」であることを知っているため、走って通り抜けたり、用心するようになります。

### ● コミュニケーション能力の向上

フィールドワークでのインタビューや話し合いながらのマップづくりを通して、コミュニケーション能力の向上が期待できます。

### ● 地域への愛着

「地域安全マップづくり」は、通学路や遊び場など、子どもたちにとって身近な地域を調査して地図を作製します。そのため、地域の様々なことを見て、聞いて、地域に関心を持つようになり、地域への愛着心を高めることが期待できます。

### ● 少年非行の防止

防犯について考える機会を通して、犯罪行為、非行について知り、そのような行為をしないという気持ちを持つことで、少年非行防止の効果が期待できます。

### ● 地域の防犯意識の向上

子どもたちの「地域安全マップづくり」に地域の大人が協力したり、見かけたりすることで、地域の大人も防犯について考えるようになり、地域の防犯意識を高める効果が期待できます。



## ちゅらさん運動



### 第17回 沖縄県子ども地域安全マップコンテスト作品集

令和5年11月発行

発行・編集：ちゅらうちなー安全なまちづくり推進会議

事務局：沖縄県子ども生活福祉部消費・暮らし安全課

沖縄県教育庁保健体育課

沖縄県警察本部生活安全部生活安全企画課

- お問い合わせ先 〒900-8570 那覇市泉崎一丁目2番2号  
沖縄県子ども生活福祉部消費・暮らし安全課  
TEL:098-866-2187 FAX:098-866-2789  
E-mail:aa024007@pref.okinawa.lg.jp